



Q-Board

平成 20 年 8 月 19 日

各 位

上場会社名：ジェイエムテクノロジー株式会社

(コード番号：2423 Q-Board)

本社所在地：福岡市博多区下川端町 3 番 1 号

代表者名：代表取締役社長 岩永 康德

問合せ先：常務取締役管理担当 細川 誠哉

電話番号：092-272-4151

(URL <http://www.jmtech.co.jp/>)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月期の決算発表時（平成 20 年 4 月 15 日）に公表した平成 21 年 2 月中間期（平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 2 月期中間業績予想の修正（平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日）

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,320	35	30	20
今 回 修 正 予 想 (B)	1,380	53	45	32
増 減 額 (B-A)	60	18	15	12
増 減 率 (%)	4.5	51.4	50.0	60.0
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 2 月中間期)	—	—	—	—

(注) 平成 19 年 9 月 27 日の株式会社ソフトラインの株式取得に伴い、平成 19 年 10 月 1 日より連結対象範囲としているため、平成 20 年 2 月中間期につきましては連結財務諸表を作成しておりません。

(2) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,135	22	20	10
今回修正予想(B)	1,180	39	35	17
増減額(B-A)	45	17	15	7
増減率(%)	4.0	77.3	75.0	70.0
(ご参考) 前期実績 (平成20年2月中間期)	1,072	△4	△4	18

2. 修正の理由

(連結)

売上高につきましては、既存の顧客を中心に積極的な受注活動を行うとともに新規顧客の開拓にも努め、収益基盤の強化・拡充を図ったことにより予想を上回る見込みとなりました。

損益面につきましては、新規学卒者や中途採用人員に関する採用関連費用や東京等への移動費用等が当初の予想を下回ったことにより、営業利益、経常利益、当期純利益が予想を上回る見込みとなりました。

(個別)

個別の業績につきましては、上記に記載いたしました理由により、売上高 1,180 百万円、営業利益 39 百万円、経常利益 35 百万円、当期純利益 17 百万円を見込んでおります。

3. 通期連結業績予想及び通期個別業績予想について

わが国の経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰や米国サブプライムローン問題等の影響から、急速に悪化しており、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

情報サービス業界におきましては、顧客のIT投資に対するコスト意識の高まりに加え景気の不透明感が強まっている影響から顧客のIT投資に抑制傾向が見受けられる等、厳しい環境が続くものと予想されます。

半導体業界におきましては、DRAMとフラッシュメモリー価格の大幅な下落や在庫調整の影響等から半導体メーカーの設備投資は抑制傾向が続くものと予想されます。

このように当社を取り巻く環境は引き続き予断を許さない状況が続くことが予想されることから、通期の業績予想につきましては、連結・個別とも変更はありません。

※ 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上